

平成23年度「医療放射線安全管理講習会」の開催

主催：医療放射線防護連絡協議会

後援：厚生労働省

この講習会は、医療領域における放射線防護を関係者に正しく理解・認識してもらい、放射線管理が合理的に機能することを目的として開催いたします。

現在、福島第一原子力発電所事故に伴い、放射線・放射能に関する不安と健康影響が、わが国を含め世界で大きな関心事となっております。医療分野においても、多くの放射線・放射性物質を利用して診療を行っており、従前から放射線・放射能に対する不安が懸念される状況がありました。引き続き、国民が受ける放射線線量の大半（自然放射線を除く）を占める医療放射線利用において、今後は放射線・放射能に対する安全管理は、従前に増して重要な課題であり、医療放射線利用の恩恵を国民に継続的に提供し続けるためには、この福島原発事故の教訓を整理して、医療分野の放射線安全の普及と向上を図る必要があります。

また、日常の医療放射線安全管理のQ&Aについて、総合討論で医療現場での問題解決に向け、講師と参加者で一緒に考え、具体的な対応などを議論します。

日頃、医療の放射線安全管理に係っている方々の多数のご参加をお待ちしています。なお、講習会を受講された方には終了証を発行します。

◆開催場所と日時：

○京都会場（第51回） 平成23年10月1日（土）10:15～16:15

島津製作所本社・研修センター 京都市中京区西ノ京桑原町1

地下鉄東西線：西大路御池駅より徒歩3分、阪急京都線：西院駅より徒歩10分

○東京会場（第52回） 平成23年10月7日（金） 10:15～16:15

首都大学東京 荒川キャンパス内講堂 東京都荒川区東尾久7-2-10

日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分、都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分、

田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車、「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分

◆プログラム

開催の挨拶：10:15 佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会 会長）

第1部 10:20～12:00

教育講演(1) （講演時間：45分）

演題「東日本震災への厚生労働省としての取り組み*福島原発事故関連を中心に*」

講演者：堀岡 伸彦（厚生労働省大臣官房 厚生科学課長補佐）

教育講演(2) （11:15～12:00） （講演時間：40分）

演題「福島原発事故に伴う被曝線量管理の基礎知識」

京都会場：副題「内部被曝を中心に」 遠藤 啓吾（京都医療科学大学）
東京会場：副題「外部被曝を中心に」 米原 英典（放射線医学研究所）
(昼食 12：00～13：00)

第2部 医療機関における放射線安全管理 (13：00～14：45)

(講演時間：各30分)

1. 医療施設の放射線立入検査ポイント

京都会場 東山 勝彦（兵庫県加古川健康福祉事務所健康管理課）

東京会場 田村 郁夫（東京都福祉健康局医療安全課）

2. 福島原発事故に伴う医療関係者や市民からの問い合わせへの対応の経験

京都会場 小泉 幸司（京都大学病院 放射線部）

東京会場 山口 一郎（国立保健科学学院）

3. 話題提供 福島原発事故を経験して

京都会場 RI 施設の放射線量と環境モニタリング値の比較：井原 智（杏林大学医学部）

東京会場 環境放射線モニタリング報告：福士 政広（首都大学東京）

(休憩：15分)

第3部 総合討論 (15：00～16：15)

座長：京都会場 大野 和子（京都医療科学大学）

東京会場 菊地 透（自治医科大学）

「福島原発事故から学ぶ医療現場の放射線安全と問題解決」

参加者から意見や質問を受け、講師と参加者で議論します。

閉会の挨拶：菊地 透（医療放射線防護連絡協議会総務理事）

◆受講料：6,000円（テキスト：「講演要旨」）

◆申込方法：FAX. またはEメールでお申し込みください。

◆申込先：医療放射線防護連絡協議会

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

日本アイソトープ協会内

Fax：(03)5978-6434 電話：(03)5978-6433（月・水・金）

E-mail：jarpm@chive.ocn.ne.jp